



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部副本部長 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	16,433	4.9	2,605	△0.3	3,646	20.7	2,583	38.9
30年3月期第2四半期	15,660	1.2	2,613	16.9	3,020	451.9	1,859	643.6

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 2,746百万円 (25.5%) 30年3月期第2四半期 2,188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	798.30	—
30年3月期第2四半期	574.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	61,930	51,452	82.8
30年3月期	59,850	49,677	82.7

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 51,308百万円 30年3月期 49,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	300.00	300.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	300.00	300.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	2.8	5,000	△5.4	5,400	△7.3	3,700	△3.4	1,143.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	4,512,651 株	30年3月期	4,512,651 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,276,380 株	30年3月期	1,276,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	3,236,291 株	30年3月期2Q	3,236,719 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、西日本豪雨や台風等の自然災害による影響を受けましたが、企業収益や雇用情勢の改善等を背景にして緩やかな回復傾向が続いています。一方世界経済は、米国の保護主義的な通商政策により貿易摩擦が激化し、先行きには不透明感が高まっています。

当社グループの重要な販売分野である繊維工業関連におきましては、国内では生産拠点が海外に移転し、また国内大手顧客の不採算製品の生産中止及び体力強化のための事業構造改革の影響による販売量の減少などもあり、依然として厳しい状態が続いております。一方、海外の繊維工業関連におきましては、長年に亘り生産拡大路線を続けてきた中国繊維産業の設備投資に陰りが見え始めています。また、前連結会計年度に一部地域で発生していた工場の環境対策工事による操業停止や生産調整はほぼ終了いたしました。各業界内での企業淘汰の兆しが見え始めています。

非繊維工業分野におきましては、国内自動車関連では新車販売が前年同四半期比で減少し、建築関連も建築資材の生産がやや低調となっております。海外自動車関連では、好調を維持していた米国及び中国で新車販売が減少傾向にあり、台頭するインド市場は今後も成長が見込まれます。

このような状況下、当社グループでは高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に注力してまいりました。また、国内においては、顧客の生産拠点の海外移転への対応を柔軟に行い、海外においては、主力の中国市場以外での拡販にも注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高16,433百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益2,605百万円（前年同四半期比0.3%減）、経常利益3,646百万円（前年同四半期比20.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,583百万円（前年同四半期比38.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 日本

日本における当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は16,076百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,589百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が縮小傾向の中、これまで堅調に生産を伸ばしていた不織布分野が停滞気味となっております。海外向けでは、化合繊維油剤、工業用活性剤の販売が不振となり、外部顧客に対する売上高は1,530百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、アパレル業界における差別化商品の生産量アップの影響で売上が回復しましたが、産業資材分野におきましては顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野では自動車ケミカル製品、トイレタリー分野が堅調で、前年同四半期を上回る販売となりました。海外向けでは産業用繊維分野、高機能繊維分野において大きく販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は9,590百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維工業関連加工剤の販売は前年同四半期よりやや減少し、非繊維工業分野では両性イオン界面活性剤の不採算製品を販売中止としたために販売が減少しました。しかしながら、海外向けの化合繊維油剤が好調であったため、外部顧客に対する売上高は481百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産が低迷し、前年同四半期を下回る結果となりました。非繊維工業関連では、建築関連は全般的に低調となりましたが、自動車関連をはじめとする海外需要の取り込みにより前年同四半期を上回る販売となりました。設備投資関連資材は、好調な半導体市場の影響で前年同四半期を上回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は4,474百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

## ② インドネシア

インドネシアにおける当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は357百万円（前年同四半期比7.4%減）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同四半期比48.2%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、スパン織物関係の経糸油剤やポリエステル糸油剤は順調に推移し

ましたが、ナイロン系の紡糸油剤が低調となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は189百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、国内レバラン休暇等の影響により糊剤の販売が減少しました。また一部製品の販売を中止したため、外部顧客に対する売上高は160百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ2百万円（前年同四半期比22.3%減）及び3百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比2,080百万円（3.5%）増加して、61,930百万円となりました。流動資産は前期末比1,618百万円（3.5%）増加の48,257百万円、固定資産は前期末比461百万円（3.5%）増加の13,672百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が951百万円、受取手形及び売掛金が433百万円、有価証券が233百万円それぞれ前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、建設仮勘定が439百万円前期末より増加したことによるものであります。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比305百万円（3.0%）増加の10,478百万円となりました。流動負債は、前期末比382百万円（4.4%）増加の9,075百万円、固定負債は前期末比76百万円（5.2%）減少の1,402百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が164百万円減少したものの、その他が416百万円、未払法人税等が186百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債が216百万円増加したものの、厚生年金基金解散損失引当金が288百万円減少したことによるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比1,774百万円（3.6%）増加して51,452百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が1,612百万円、その他有価証券評価差額金が183百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の82.7%から82.8%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、1,190百万円増加（前年同四半期は20百万円の減少）し、34,691百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,414百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同四半期は1,380百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,647百万円、減価償却費299百万円であり、支出の主な内訳は、為替差益763百万円、法人税等の支払額757百万円、売掛債権の増加額450百万円、厚生年金基金解散損失引当金の減少288百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは221百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は411百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入510百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出510百万円、有形固定資産の取得による支出214百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは971百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は1,112百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額970百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高はほぼ当初予想通りの結果となりました。利益面につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がともに当初予想を上回る結果となりました。しかしながら通期の業績につきましては、今後の為替動向等、第3四半期以降の経済状況が依然として不透明なことから、平成30年5月11日に公表いたしました予想数値を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,081	31,033
受取手形及び売掛金	8,840	9,274
有価証券	3,085	3,319
商品及び製品	2,034	1,992
仕掛品	429	501
原材料及び貯蔵品	1,159	1,149
未収還付法人税等	0	-
その他	1,008	987
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	46,638	48,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,098	7,168
減価償却累計額	△5,121	△5,179
建物及び構築物（純額）	1,977	1,989
機械装置及び運搬具	12,001	12,064
減価償却累計額	△10,092	△10,244
機械装置及び運搬具（純額）	1,909	1,820
土地	530	529
建設仮勘定	56	496
その他	1,443	1,431
減価償却累計額	△1,312	△1,295
その他（純額）	131	135
有形固定資産合計	4,604	4,971
無形固定資産		
その他	25	22
無形固定資産合計	25	22
投資その他の資産		
投資有価証券	7,559	7,637
その他	1,029	1,047
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	8,581	8,678
固定資産合計	13,211	13,672
資産合計	59,850	61,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,493	6,436
未払法人税等	791	978
賞与引当金	295	130
その他	1,113	1,530
流動負債合計	8,693	9,075
固定負債		
退職給付に係る負債	922	923
厚生年金基金解散損失引当金	288	-
資産除去債務	106	107
繰延税金負債	90	306
その他	71	65
固定負債合計	1,478	1,402
負債合計	10,172	10,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,519	6,519
利益剰余金	42,747	44,359
自己株式	△7,317	△7,318
株主資本合計	48,038	49,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,639	1,822
為替換算調整勘定	△115	△164
退職給付に係る調整累計額	△38	0
その他の包括利益累計額合計	1,485	1,658
非支配株主持分	153	143
純資産合計	49,677	51,452
負債純資産合計	59,850	61,930



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	15,660	16,433
売上原価	11,072	11,842
売上総利益	4,587	4,590
販売費及び一般管理費	1,974	1,985
営業利益	2,613	2,605
営業外収益		
受取利息	34	70
受取配当金	53	54
持分法による投資利益	91	36
為替差益	173	830
その他	61	58
営業外収益合計	415	1,049
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	4	5
支払手数料	-	2
その他	4	1
営業外費用合計	8	9
経常利益	3,020	3,646
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	2
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	19
特別利益合計	0	21
特別損失		
固定資産除却損	1	20
退職給付費用	428	-
特別損失合計	430	20
税金等調整前四半期純利益	2,590	3,647
法人税、住民税及び事業税	799	926
法人税等調整額	△75	134
法人税等合計	723	1,061
四半期純利益	1,866	2,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,859	2,583

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,866	2,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	312	183
為替換算調整勘定	△15	△36
退職給付に係る調整額	13	1
持分法適用会社に対する持分相当額	11	11
その他の包括利益合計	321	159
四半期包括利益	2,188	2,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,187	2,756
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,590	3,647
減価償却費	279	299
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
受取利息及び受取配当金	△88	△125
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△109	△763
持分法による投資損益(△は益)	△84	△68
売上債権の増減額(△は増加)	△352	△450
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175	△45
仕入債務の増減額(△は減少)	46	△43
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	4	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△155	△164
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	448	38
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	-	△288
固定資産除売却損益(△は益)	1	20
投資事業組合運用損益(△は益)	-	5
未収還付法人税等の増減額(△は増加)	86	0
未収消費税等の増減額(△は増加)	△4	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	△104	79
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9	△0
その他の流動負債の増減額(△は減少)	59	△101
小計	2,431	2,039
利息及び配当金の受取額	96	132
利息の支払額	-	△0
法人税等の支払額	△1,147	△757
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,380	1,414

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△251	△214
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△150	△10
投資有価証券の売却による収入	-	18
投資有価証券の償還による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△3	-
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	510	510
長期貸付金の回収による収入	0	-
保険積立金の積立による支出	△41	△51
保険積立金の解約による収入	29	38
その他	4	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411	△221
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△4	△0
配当金の支払額	△1,108	△970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,112	△971
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20	1,190
現金及び現金同等物の期首残高	31,531	33,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,511	34,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	15,274	385	15,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149	20	170
計	15,424	406	15,830
セグメント利益	2,592	26	2,619

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,619
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	2,613

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	16,076	357	16,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117	10	127
計	16,193	367	16,561
セグメント利益	2,589	13	2,603

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,603
棚卸資産の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,605